

1. 集計結果

○回答数

- ・保護者による評価 22人（22人中）
- ・職員による自己評価 13人（13人中）

○実施期間

- ・2020年12月25日～2021年1月15日

○評価の数値状況

- *別紙を参照

2. 分析・討議

○保護者による評価

- ・「活動の場所の面積が適切であるか」は、「はい」が22人（全員）ある。
- ・「指導員の配置人数は適切であるか」は、「はい」が21人ある。「たくさんの人に見守られ、誰でも助けてもらえる」「子ども2人に1人以上の指導員が配置され、手厚い対応をしてもらっている」という意見もある。指導員の手厚さが評価されている。
- ・「子どもにとって危険がともなうようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が20人ある。「毎日、きれいに掃除をしている中で確認していると思う」という意見もある。ただし、「わからない」が2人ある。施設内を詳しく点検したことがない人もいるからだと思われる。
- ・「虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が22人（全員）ある。「子どもを理解してもらえ、とても安心して」「信頼できる指導員ばかりなので、安心して預けられる」という意見もある。虐待の心配がなしに、安心して子どもを通わせることができると評価されている。
- ・「火災や地震、感染症などの対策がなされているか」は、「はい」が20人ある。「毎日、活動後に除菌などを行っているのを見る」という意見もある。ただし、「わからない」が2人ある。消防設備や火災報知器が設置され、防火・防災訓練や、感染症対策の研修会を行なっていることが伝わっていない人もいると思われる。
- ・「個人情報の取り扱いに十分注意されているか」は、「はい」が20人ある。ただし、「わからない」が2人ある。「個人情報保護指針」にもとづき、個人情報を取り扱ったり、個人が特定される文章や写真などを外部に出す必要があったりするときは、必ず事前に、保護者の同意を得ていることや、個人情報に関わる資料やデータなどは、鍵のかかる書庫で保管していることなどを知らない人もいると思われる。
- ・「子どもの育ちの状況を確認、保護者との面談もしながら、個別支援計画書が半年に1回は見直し、作成されているか」は、「はい」が21人ある。「小さな成長や変化をとらえ、その子に合った支援計画を立てている」「コロナ禍でも、希望者と面談している。真摯に取り組んでいる」という意見もある。
- ・「子どもに応じた活動が作り出されるとともに、屋内や屋外の活動、長期休業中

の活動などが工夫されているか」は、「はい」が22人（全員）ある。「子どもは活動を楽しみに参加しているか」「活動に満足しているか」は、「はい」が21人ずつある。「散歩などに寄り添っている」「1人ひとりの体調や気持ちを受け止めている」「長期休み活動は、違うルートの散歩などを工夫している」「とても楽しみにしている」「2020年は特に、唯一の楽しみだった」「とても楽しみに通っている」「第2の家として、安心して過ごせる」「子どものことをよく考え、親にも目を向けている」「気持ちを受け止め、子ども同士の関わりを大切にしている」「たくさん経験をしている」「とても満足」という意見もある。活動内容が評価されている。

- ・「入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明がなされたか」「保護者の思いや願いを汲み取るため、懇切に対応されているか」「保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取られているか」「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会がつけられているか」は、「はい」が22人（全員）ずつある。「毎日、記録や口頭で教えてもらえる」「保護者が迎えるので、その日の報告が聞ける」「スライドを見つつ、活動の様子を報告してもらう保護者会がある」という意見もある。
- ・「苦情などの意見を寄せたときは、懇切に対応され、改善策をすみやかに伝えられているか」は、「はい」が20人ある。ただし、「わからない」が2人ある。苦情を出したことがないので、どのように対応しているかわからない、ということだと思われる。
- ・「会報などが定期的に作られて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりされているか」は、「はい」が22人（全員）ある。「ていねいに作られ、配布されている」という意見もある。
- ・「親子行事、きょうだいの会など、保護者や家族が交流できる機会が工夫されているか」「保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくろうとされているか」は、「はい」が21人ずつある。「きょうだいの会をつうじ、きょうだいも成長できる」という意見もある。

○職員による自己評価

- ・全体として、高い自己評価となっている。
- ・「ガラス窓や照明器具などの破損によるガラスの飛散が起こらないような対策をとっているか」は、「はい」が13人（全員）ある。「ガラス飛散防止フィルムを貼るなどしている」という意見もある。
- ・「防火・防災マニュアルを策定するとともに、火災・地震に対する訓練を定期的に行なっているか」は、「はい」が13人（全員）ある。「定期的な、子どもと職員で避難訓練を行なっている」という意見もある。
- ・「子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか」は、「はい」が13人（全員）ある。「気づきしだい、責任者に伝えている」という意見もある。
- ・「子どもの活動の記録を書いているか」は、「はい」が13人（全員）ある。「活動中、子どものキラリと光るような姿を感じたら、簡単なメモを取るようになっている」という意見もある。
- ・「子どものことがわからないと感じたとき、独りよがりの判断をせず、ほかの職員に意見を聞くなどしているか」は、「はい」が13人（全員）ある。「担当する子ども

もを、他の職員がいつとき見ているときの様子などを聞いて把握する」という意見もある。

- ・「子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか」は、「はい」が9人ある。「放課後連・東京が実施したオンライン実践講座に参加した」という意見もある。ただし、「わからない」「いいえ」が2人ずつある。外部の研修会は、休日に開かれることが多いため、非常勤職員の場合は、家庭の事情などで参加が難しいことの表われだと考えられる。また、新型コロナウイルスの問題で、外出しにくい状況も重なったと思われる。

3. 改善目標

○保護者による評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。引き続き、安心して子どもを通わせることができるとともに、活動内容や、保護者との関係づくりなどが豊かであるよう、いっそう努力を重ねたい。
- ・施設整備や防火・防災対策の状況については、機会をとらえて、いっそう伝えていきたい。

○職員による自己評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。引き続き、内部の研修会などをつうじ、子ども1人ひとりの内面を深く理解することを大事にしたい。一方的な講義ではなく、集団的に討議することを留意したい。
- ・外部の研修会への参加は、家庭などの事情があり、容易ではないが、機会をとらえて、参加を引き続き呼びかけたい。

4. 公表方法

○保護者・職員への文書の配布（2021年2月より）

○ホームページへの掲載（2021年2月より）